



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月31日

上場会社名 ジェイ・エスコムホールディングス株式会社  
コード番号 3779 URL <http://www.j-escom.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 利興

問合せ先責任者 (役職名) 業務管理統括本部 部長 (氏名) 丸山 博之

TEL 03-5114-0761

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	876	94.1	114		96		99	
2023年3月期第2四半期	451	16.8	29		29		69	262.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 95百万円 ( %) 2023年3月期第2四半期 69百万円 (262.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第2四半期	8.63	
2023年3月期第2四半期	6.68	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期第2四半期	2,461	532	17.4	37.09
2023年3月期	2,821	627	18.6	45.31

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 428百万円 2023年3月期 524百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では業績に影響を与える不確定な要素が多く、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、詳細につきましては添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	11,567,990 株	2023年3月期	11,567,990 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	317 株	2023年3月期	317 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	11,567,673 株	2023年3月期2Q	10,472,673 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が第5類への移行によりさらに減少し、景気は緩やかな回復基調となっております。しかしながら、引き続き地政学的なリスクや国際的なインフレ等の様々なリスクが存在しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、理美容事業及びコンサルティング事業は事業規模を縮小し、昨年度より開始したデジタルマーケティング事業を中心に事業を展開をし、ファンド運営等の投資事業についても積極的に進めております。

通信販売事業につきましては、より集客力の高い映像制作を行うことにより顧客企業の満足度を高め、加えてアウトバウンドやDM発送等の通信販売を側面から支援する事業の展開を行っております。デジタルマーケティング事業につきましては、韓国での事業ノウハウ等を活かし日本での利益確保にむけて、積極的な顧客企業の開拓、取り扱い商材の拡大、システム構築等を進めております。現状、日本における売上高は順調に拡大しているものの、依然として黒字化には至っておらず、投資が先行している状態です。また、韓国での債権の未回収に関しては継続開示を行っておりますとおり、現在訴訟を提起いたしており、回収に向けて手続を進めている状況です。投資事業につきましては、2号ファンドを組成し、ゲーム事業へ共同事業者として投資いたしました。なお、当社連結グループにおけるデジタルマーケティング事業の決算数値については決算期が12月であることから、3カ月遅れで取り込むこととしております。

上記の結果、当第2四半期における業績につきましては、売上高は876,538千円(前年同四半期比94.1%増)営業損失は114,734千円(前年同期は29,304千円の営業損失)、経常損失は96,457千円(前年同期は29,311千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は99,817千円(前年同期は69,975千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、新規取引先の開拓や映像制作力の高い外注先の活用、収益多様化のため通販事業支援事業等の展開をしておりますが、業界内の競争も引き続き厳しい状態であり、当該事業における売上高は248,923千円(前年同四半期比29.4%減)となりました。

#### ② デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業につきましては、韓国において営業利益は堅調に推移しております。日本においては、売上高は拡大しておりますが、顧客企業開拓のための人件費、システム開発費用等の先行投資をカバーする水準までは至っておりません。その結果、当該事業における売上高は565,894千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### <財政状態の分析>

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,461,654千円となり、前連結会計年度末に比べて360,139千円の減少となりました。流動資産は2,063,154千円となり、前連結会計年度末に比べて414,632千円の減少となりました。この減少は、主に現金及び預金130,926千円並びに売掛金308,301千円の減少によるものであります。固定資産は398,499千円となり、前連結会計年度末に比べて54,492千円の増加となりました。この増加は、主に投資その他の資産のその他のうち出資金100,000千円の増加及び差入保証金40,348千円の減少によるものであります。流動負債は1,869,019千円となり、前連結会計年度末に比べて9,226千円の減少となりました。この減少は、主に1年内返済予定の長期借入金309,276の増加、未払金321,273千円並びに支払手形及び買掛金72,871千円の減少によるものであります。固定負債は60,527千円となり、前連結会計年度末に比べて256,014千円の減少となりました。この減少は、主に長期借入金311,737千円を1年内返済予定の長期借入金に振替えたことによるものであります。純資産は532,108千円となり、前連結会計年度末に比べて94,898千円の減少となりました。この減少は、主に親会社株主に帰属する四半期純損失99,817千円の計上によるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ29,811千円減少し、1,108,496千円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は171,081千円（前年同期は27,305千円の減少）となりました。これは主に、売上債権の減少308,301千円、未払金の減少317,411千円及び税引前当期純損失96,457千円の計上があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は2,332千円（前年同期は867,937千円の増加）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入280,500千円、定期預金の預入による支出170,500千円及び出資金の払込による支出100,000千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は163,139千円（前年同期は1,007千円の増加）となりました。これは、短期借入れによる収入110,000千円及び長期預り金の受入による収入51,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日付「2023年3月期決算短信」で公表しております通り、当社におきましては日本におけるデジタルギフト事業も含めた事業の展開に関しまして、適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、グループ全体での業績予想の開示を見合わせる決定しております。

今後の当社グループの事業環境や事業進捗の動向を踏まえ、合理的な算定が可能と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,320,823	1,189,896
売掛金	1,083,285	774,984
棚卸資産	3,536	127
その他	119,961	147,269
貸倒引当金	△49,818	△49,123
流動資産合計	2,477,787	2,063,154
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,378	4,378
その他	33,448	27,102
有形固定資産合計	37,827	31,481
無形固定資産		
投資その他の資産	20,506	23,545
差入保証金	254,161	213,813
繰延税金資産	18,836	18,400
その他	12,674	111,259
投資その他の資産合計	285,672	343,472
固定資産合計	344,006	398,499
資産合計	2,821,794	2,461,654
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	217,434	144,563
1年内返済予定の長期借入金	—	309,276
短期借入金	—	110,000
未払金	903,043	581,770
前受金	557,426	559,060
未払法人税等	11,020	1,887
賞与引当金	2,283	1,968
その他	187,037	160,493
流動負債合計	1,878,245	1,869,019
固定負債		
長期借入金	311,737	—
その他	4,804	60,527
固定負債合計	316,541	60,527
負債合計	2,194,787	1,929,546
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,116,282	50,000
資本剰余金	677,950	376,840
利益剰余金	△1,268,922	△848
自己株式	△92	△92
株主資本合計	525,218	425,898
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,116	3,095
その他の包括利益累計額合計	△1,116	3,095
新株予約権	1,007	1,007
非支配株主持分	101,898	102,106
純資産合計	627,006	532,108
負債純資産合計	2,821,794	2,461,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	451,546	876,538
売上原価	362,247	354,338
売上総利益	89,299	522,200
販売費及び一般管理費	118,604	636,934
営業損失(△)	△29,304	△114,734
営業外収益		
受取利息	1	3,975
為替差益	—	9,949
債務勘定整理益	—	21,763
雑収入	0	1,071
営業外収益合計	2	36,759
営業外費用		
支払利息	—	2,585
売上債権売却損	8	—
貸倒損失	—	7,406
訴訟関連費用	—	8,227
雑損失	1	262
営業外費用合計	9	18,482
経常損失(△)	△29,311	△96,457
特別利益		
負ののれん発生益	100,224	—
特別利益合計	100,224	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	70,912	△96,457
法人税、住民税及び事業税	945	3,364
法人税等調整額	△7	△212
法人税等合計	937	3,152
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69,975	△99,609
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	208
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	69,975	△99,817

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	69,975	△99,609
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	4,211
その他の包括利益合計	—	4,211
四半期包括利益	69,975	△95,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,975	△95,605
非支配株主に係る四半期包括利益	—	208

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	70,912	△96,457
負ののれん発生益	△100,224	—
のれん償却額	360	—
減価償却費	207	17,044
貸倒引当金の増減額(△は減少)	64	△695
賞与引当金の増減額(△は減少)	329	△315
為替差損益(△は益)	—	△9,949
受取利息及び受取配当金	△1	△3,975
支払利息	—	2,585
売上債権の増減額(△は増加)	△547	308,301
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,413	3,408
仕入債務の増減額(△は減少)	15,233	△72,871
未払金の増減額(△は減少)	3,378	△317,411
未払費用の増減額(△は減少)	1,489	△17,076
前受金の増減額(△は減少)	3,081	1,633
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,822	6,569
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	626
その他	△4,083	17,250
小計	△23,036	△161,331
利息及び配当金の受取額	1	3,975
利息の支払額	—	△2,585
法人税等の支払額	△4,271	△12,592
法人税等の還付額	0	1,451
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△27,305</b>	<b>△171,081</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	5,899
有形及び無形固定資産の取得による支出	△683	△18,232
定期預金の払戻による収入	—	280,500
定期預金の預入による支出	—	△170,500
出資金の払込による支出	—	△100,000
事業譲受による支出	△360	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	868,981	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>867,937</b>	<b>△2,332</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	110,000
長期借入れによる収入	—	10,191
新株予約権の発行による収入	1,007	—
リース債務の返済による支出	—	△8,051
長期預り金の受入による収入	—	51,000
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,007</b>	<b>163,139</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△19,537
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>841,638</b>	<b>△29,811</b>
現金及び現金同等物の期首残高	395,732	1,138,308
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,237,370</b>	<b>1,108,496</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月22日開催の第18回定時株主総会の決議により、2023年8月1日付で資本金の額1,066,282千円及び資本準備金の額301,110千円をそれぞれ減少し、減少した資本金及び資本準備金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が50,000千円、資本剰余金が376,840千円、利益剰余金が△848千円となっております。

なお、株主資本の合計金額に著しい変動はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において当社の連結子会社であるMafin inc.の子会社としてMatched inc.を設立し、連結範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	理美容事業	コンサルティング事業	通信販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	89,050	9,546	352,540	451,136	410	451,546
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9,000	—	9,000	612	9,612
計	89,050	18,546	352,540	460,136	1,022	461,159
セグメント利益(又はセグメント 損失△)	△15,586	7,556	△7,274	△15,304	△4,223	△19,527

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版関連事業及び代理店手数料収入等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△15,304
「その他」の区分の利益	△4,223
セグメント間取引消去	31,409
全社費用(注)	△41,186
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△29,304

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

Mafin inc. の100%の議決権を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、デジタルマーケティング事業のセグメント資産が2,007,478千円増加しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

Mafin inc. の100%の議決権を取得し、連結子会社になったことに伴い、デジタルギフトに関連する事業等を含めたデジタルマーケティング事業を新たに報告セグメントに追加することといたしました。

なお、みなし取得日を、2022年6月30日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、当第2四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

Mafin inc. の100%の議決権を取得し、連結子会社になったことに伴い、当第2四半期連結会計期間において、負ののれん発生益100,224千円を特別利益として計上しております。なお、当該負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含めておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	理美容事業	コンサルティング事業	通信販売事業	デジタルマーケティング事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	59,563	1,800	248,923	565,894	876,181	357	876,538
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	16,000	—	—	16,000	601	16,601
計	59,563	17,800	248,923	565,894	892,181	959	893,140
セグメント利益(又はセグメント損失△)	△4,377	10,619	△13,470	△79,078	△86,306	△1,614	△87,920

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版関連事業、投資事業及び代理店手数料収入等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△86,306
「その他」の区分の利益	△1,614
セグメント間取引消去	19,398
全社費用(注)	△46,212
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△114,734

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。